平成28年度　学力向上対策プラン　　あきる野市立秋多中学校

児童・生徒の実態

・明るく素直で、全体としては落ち着いて生活している。
・学習意欲がもてず、基礎的基本的知識が未定着な生徒が一部いる。
・全体として家庭学習が不十分な傾向が見られる。

あきる野市教育委員会　重点施策

○　いじめ不登校０（ゼロ）への挑戦
○　学力向上対策の強化
○　特別支援教育の推進

本校の地域の特色

・本校の教育活動においては概ね高い評価であり、学校に対して協力的な家庭が多い。
・家庭でも生徒の学習への取り組みに対する意欲の低さに危機感はある程度もってはいるものの、積極的な改善策を講じて改善を図る努力を行うまでには至っていない。

学校教育目標

○ 自ら学び考えよう
○ ゆたかな心をもとう
○ たくましい体をつくろう

道徳教育の工夫

・学習指導要領に基づいた道徳教育の目標と、生徒の実態に応じた全体計画及び年間指導計画を立て、道徳教育推進教師を中心に「心みつめて」など道徳資料の活用を図るとともに、指導内容の工夫・改善に努め、授業を充実させる。特に、生命尊重を中心に豊かな人間性をはぐくむ教育を重視する。
・「いのちの日」を中心とした道徳授業の実践
・食物や自然、食物の生産等にかかわる人々への感謝の心を育成
・道徳授業地区公開講座を中心に、保護者や地域の教育力を活用

学校経営方針等

「今日が楽しく、夢を抱ける学校」
－自ら学ぼうとする生徒の育成－
学校職員、生徒、地域全体がお互いに信頼しあい「授業や学校生活が楽しく、生徒たちが将来に向かって夢を抱ける学校」を目指す。
本年度は、特に自ら学ぼうとする生徒の育成を図る。

総合的な学習の時間の工夫

ア　「いのち尊ぶ教育」をテーマとし、中学校生活３年間の中で、自ら学び自ら考える力を養うために、課題解決学習や体験学習を実施する。
イ　課題解決学習においては、情報機器の利用や学校図書館補助員の活用を図り、調べ学習を円滑に行えるようにする。体験学習においては地域の施設・団体・人材を活用する。
ウ　各学年で「いのち」の大切さを考えさせるため、「安全教育プログラム」を計画的に活用する。

小中一貫教育の工夫

「目指す子ども像」「育てたい力」を共有し、小学校の現状をしっかりと理解した上で指導を行う。
小中で一貫した授業規律、生活指導規律の元に教育活動を行う。
人間関係を築く力を高めるための問題解決学習を基本とした授業を3校で行っていく。